

特4

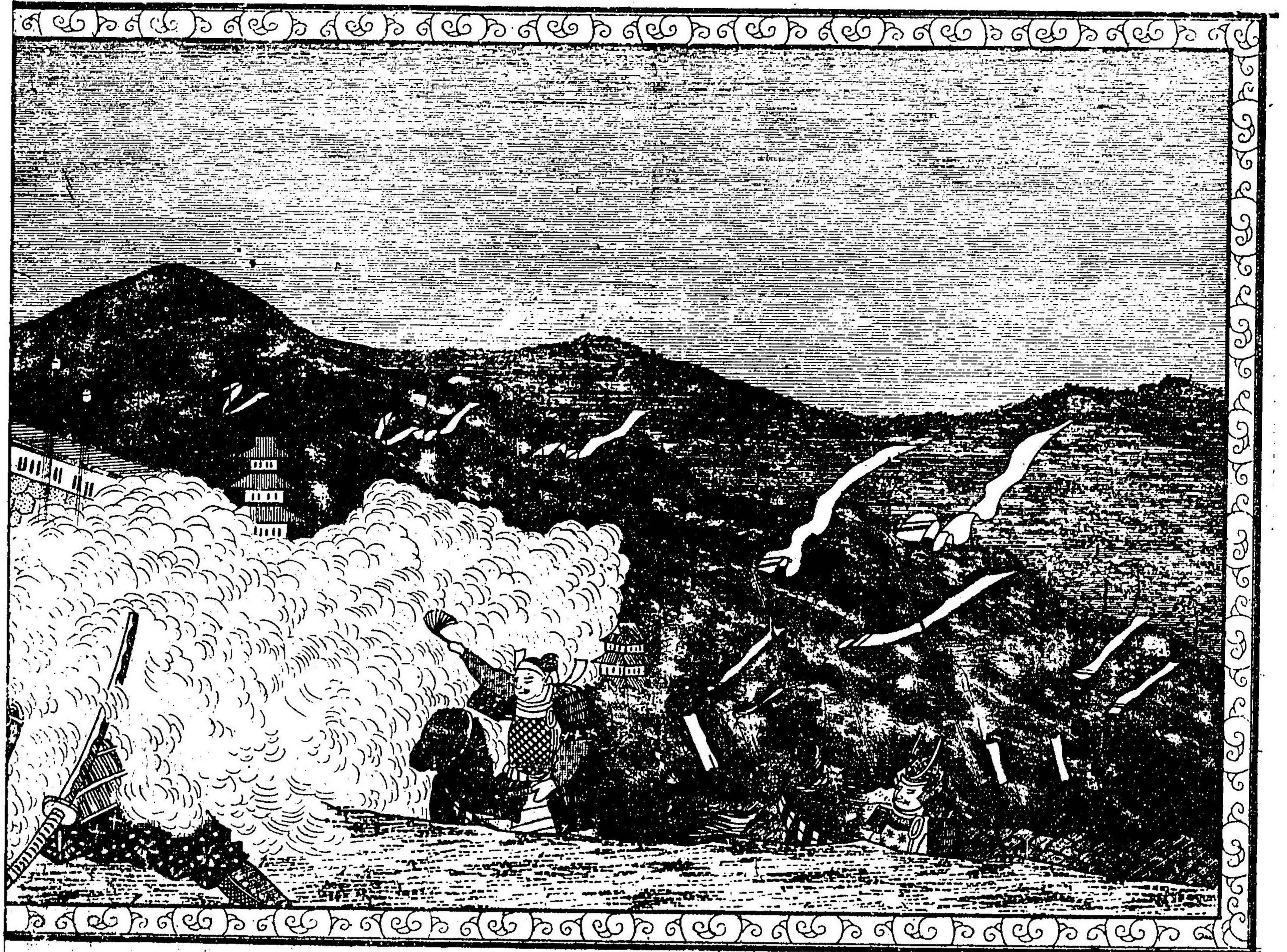
935

楠公一代記 全



山口
文庫











村公



左大臣橋本公経
 橋の姓を賜ふに
 納言好古卿六條の末
 掃部助盛仲の子左
 工門耐正と云ふ子則ち
 正成あり元弘元年後
 醍醐帝を置て
 正成を召し
 河内赤阪の住人橋本の
 太きあり依て世に橋本の
 と稱す諸国勤王の
 帝を奉じ正成
 大将を命ぜり
 依て赤阪の城
 と築く同年
 九月鎌倉の大軍

九

廿餘
 万並置
 を敗り
 赤阪を
 圍む城兵僅
 五百余正成が
 奇謀よくこ
 れを防ぎよ
 くしむを救
 了東軍終に

大敗北して退き
東国に北へ新田義
貞勇を奮せ
鎌倉を攻め
大に師を

楠河内判官正成

足利
勢大に狼狽
す此時武田



北条九
代の榮も
高時者
修無道の
為め終に
七ふ

叔正成ハ
恩地左
近一八幡
城を守り
せ置
足利之と
攻むと
重む

利
勢大に倦み
勞了正成
大軍以
て之れ
を援
聞き

宣
正成兵船百
十を以て和
の岬より直
を攻めて大に敗
軍兵兵庫
ありて
直義が助
いそま
義通れ来
聞き大に狼狽
大友肥後守と認め大友
船一打のり其方の兵を以て
九列一赴き九列都と合
七再の都一攻上





楠公

中興の事... 其子... 後... 徐... 津... 錦... 義... 大... 愛... 怒... 野... 取... 拮...

村正四郎...

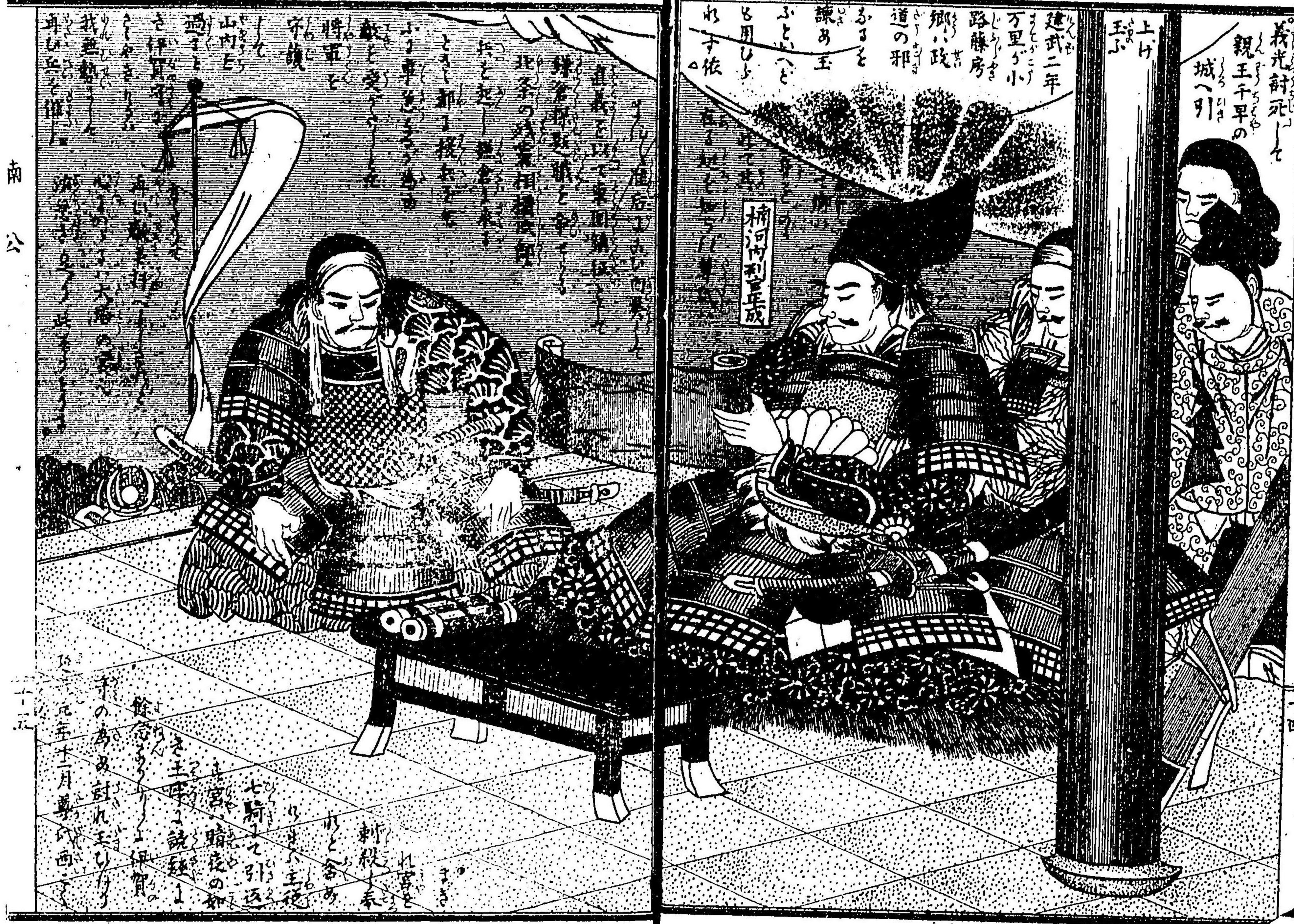
大い攻む... 漸く和田... 備前攻寄... 新田... 人せし正成...

義光討死
親王千早の
城引

上
玉

建武二年
万里小路
路藤房
郷政
道の邪
ふるを
諫め玉
ふといへ
も用ひし
水子依

楠河内利成



山内
過
我無
再い

千の
元
西

ころめて兵を
 とのく諸城を
 攻落しいきや
 破竹のこも
 其勢三十分
 して攻上ると
 き義貞兵
 庫まで海陸の
 兵を一手に
 引受戦はん
 とす正成制
 止るといんと
 も清忠之を
 拒くとわ此度
 成るとわ此度
 のとて其討死



大塔宮

まるせの尊氏らのと
 大い清忠を
 罵りやうと帰
 其日兵馬を

湖辺伊賀守



の兵を
 六千餘
 率いて出立
 便を以て正行
 橋井の駒を招



示金



楠正行

兒島高德



明治廿四年六月五日印刷
 全 年 全月 全日 出版
 京都市下京区之十三組中之町世四番
 著者 井野行人 山口吉太郎
 全下京区元七組松原町
 印刷人 伊東伊之介